



福島県の児童養護施設の子どもの健康を考える会 ニュースレター

1.健康手帳を贈りました

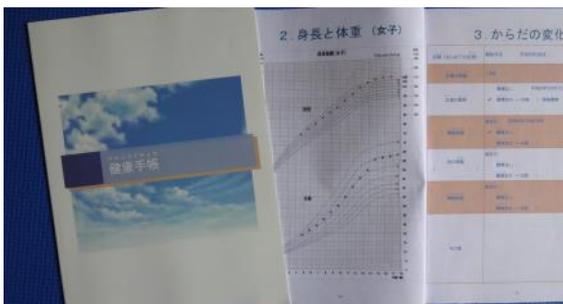
2013年3月から開始した、高校を卒業して児童養護施設から自立する若者に健康手帳を贈呈する事業は、7年目になります。

東京電力福島第一原子力発電所の事故当時小学校4年生だった男子9名、女子12名が、7児童養護施設を2019年3月に卒園しました。この中には、2012年から本会が実施している「甲状腺エコー検査」の結果4回、福島県民健康調査の甲状腺検査結果4回が記録されている子どもがいました。小学生の頃から施設で生活している子どもは成長曲線で身長、体重の伸びを見て、大きく成長したことを確認できました。

健康手帳を大切なものと思ってもらうために、様々な工夫をしています。健康手帳だけでは紛失

してしまう可能性もあるので、ポーチに入れて、さらにバンドエイド、体温計と一緒に贈っています。体温計に「甲状腺検査を1年に1回受けましょう」とシールを貼ってあります。希望する女子には婦人体温計を贈っています。婦人体温計の使い方は、各施設の看護師や保健担当の職員が説明しています。自分の身体のリズムを知り、自分の身体を大切にすること、そして避妊方法について一人一人に話しをしてくれています。

健康手帳は卒園生の他に、家庭復帰や、里親、ファミリーホームといった児童養護施設以外の社会的養護施設へ措置変更等となった児童11名にも贈られました。家族の状況が好転して、児童養護施設から家庭復帰した子どもには、施設に在る間の健康状態をまとめて、ご家族に知らせる役割も果たしています。



2. 児童養護施設を卒園してからの健康管理

18年度もNPO法人エンジェルサポートセンター（児童養護施設からの自立支援を全国各地で行うNPO）が主催する、自立支援プログラム「エンジェルサポート福島」が行われました。このプログラムは2012年度から毎年開催されており、福島県内の児童養護施設の高校生を対象として、施設を卒園した後の生活をテーマに全3回で構成されています。本会は、このプログラムの中で、共同代表澤田が、「児童養護施設を自立した後の健康管理」というテーマで、ワークショップを行いました。この時の参加者は10名（5児童養護施設）でした。

最初に「病院にかかるとき」を想定して子どもた

ちと一緒に考えました。施設で暮らしている間に、一人で病院へ行ったことがあるか？小児科以外の科に受診したことがあるか？を振り返ってもらいました。そして、卒園した後、一人で病院にかかるときに何を持っていくか？いくら持っていくか？などを、具体的にしていきました。次に、「熱が出たと



きにどうするか？」等によく見られる病気やけがの
手当を、資料を作って説明しました。施設では熱が
出ると冷えピタで冷やすことが多いのですが、コン
ビニで氷を買って氷嚢を作って冷やす方法を紹介し
て、一緒にやってみました。また、けがをしたとき
の手当として、包丁で手を切ったときの止血も子ど
もにやってもらいました。

施設を卒園してからも甲状腺検査を受けるため
に、「県民健康管理センター」に登録されている住
所を変更する方法を説明しました。そして放射線の
身体への影響についても解説して、甲状腺エコー検
査を継続して受ける必要性を話しました。

参加した高校生が、3月に施設で健康手帳を受け
取る時に、病院受診について質問をしたそうです。

施設の看護師はこの高校生が受診している科の予約
方法も含めて具体的に説明をしてくれました。また
別の施設からは、病院へ行くときに持っていくお金
の金額を職員に話していたという報告がありまし
た。3月の卒園直前は、新しい生活の準備に追われ
ますが、このプログラムに参加した子どもは健康管
理も大切なこととして受け止めてくれたようです。



3. 健康手帳を使って継続した医療をうけられるように

個々人の健康手帳に記載される検査結果や学校健
診の記録、予防接種は、ソフトウェア「すこやか日
誌」に施設の職員が入力したデータが印刷されます
が、病院にかかった記録である受診歴は印刷されま
せん。卒園後の生活で継続的な経過観察や治療が
必要な病気や、大きなけがの記録を抽出して、職員
が手書きで健康手帳の「通院・治療の記録」のペー
ジにまとめるようお願いをしています。そしてこ
れまでかかった病気を振り返り、卒園後の健康管理
で気をつける点を職員から子どもに具体的に説明を
してもらっています。同じような病気になったとき
に、卒園生が自分でどのように手当したらよいかを
学んでもらいます。ある施設では慢性疾患をもつ子
どもには、健康手帳にこれからかかりつけになる病

院への引き継ぎを記載して、医療機関でもわかるよ
うにしています。関係機関から医師を紹介してもら
い、自立後の新しい住まいの近くで病院をみつけ
て、卒園生が一人でも通院できるように地図を渡し
たりして細やかな自立支援をしています。

健康手帳の最終ページにある職員からのメッセー
ジのページに寄せ書きをしている施設もあり、子ど
もは嬉しそうに読んでいると報告をもらいました。

健康手帳を贈る事業の7年間に及ぶ継続により、
施設の職員方が工夫を重ねて子どもが卒園した後も
健康が守られるように、自分を思ってくれている大
人がいることがわかるように手帳を活用してくれて
います。皆様のご支援が形となって、社会に出る子
どもと施設職員に届いています。

4. 第7回定期総会を開催しました

2019年2月9日（土）、早稲田奉仕園セミナーハ
ウスで第7回の定期総会を開催しました。2018年
度事業報告、決算報告、2019年度事業計画、予算
についてご承認を頂きました。2018年度報告は
ホームページ「活動実績」をご覧ください。

総会后に、齋藤久夫理事(前福島愛育園園長)が
「ミャンマーの児童養護施設ドリームトレイナー長
期ボランティアの経験」の講演をしました。ミヤ
ンマーの社会福祉制度、日本と異なる児童養護施設

の生活、ボランティアとしての活動から住まいや日
常の様子まで語るユーモア溢れる報告でした。



5. 廃炉が終わるまで放射線量モニタリングの継続を

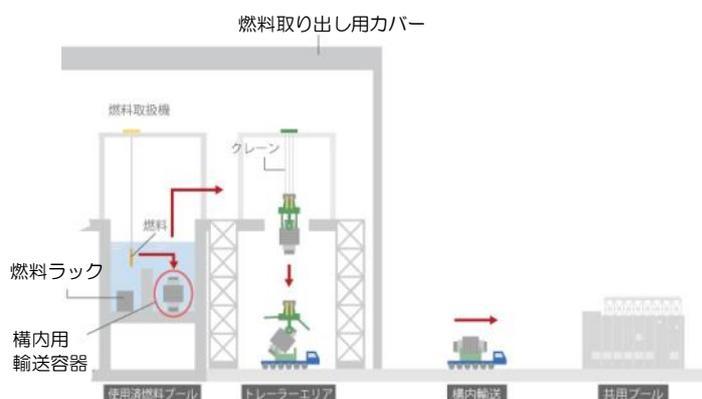
ニュースレター16号でお知らせした空間線量を測定する県内の放射線量モニタリングポストの撤去計画は、原子力規制委員会が2019年5月29日に設置の継続を示し、除染土壌がすべて搬出後に撤去を含めた配置の適正化を図るとされました。しかし廃炉が終わるまでは、県内全域に放射線量モニタリング設備が必要ではないでしょうか。

福島県内では除染した土、草木等を一時保管場所から仮置き場や中間貯蔵施設へ運び出すため、フレコンバックを載せたトラックが走っています。表紙の写真>。放射能に汚染された除染土は、環境省によると県内に約1400万 m^3 あるとされ、この除染土の再利用の実証実験を茨城県東海村、栃木県那須市でしており、これに成功した場合、高速道路や市道などに除染土を埋めて再利用が計画されています。

事故原発の廃炉は予定通り進んでいません。事故当時、発電をしていなかった4号機の燃料棒は2014年に取り出しを完了していますが、発電中の燃料棒が溶け出してメルトダウンを起こした1、2、3号機は、放射線量が高いため建屋の中に立ち入りが制限されていました。今年4月、3号機から燃料棒取り出しが始まりましたが、初期計画から4年4か月遅れでした。水素爆発を起こした3号機は原子炉建屋上部のガレキ撤去の後、2018年2月に周囲への放射性物質の散乱を防ぐ燃料取り出し用カバーの設置が完了しましたが、燃料取り出しクレー

ンなどの調整で1年2か月を要して、2019年4月15日から使用済燃料プールの燃料取り出しを開始しました。下の図のような工程で、4月25日までに未使用燃料全52本のうち7本を、他の場所にある共用プールへ移送しました。残りの燃料514本は、再びガレキ撤去をした後、7月4日から取り出ししました。この間6月17日にガレキ撤去のための装置の重さ約10Kgの部品が燃料棒を保管するラック内に落下するという事故が起きました。幸いラックには燃料棒はなく、燃料の破損は免れました。

廃炉過程では、燃料棒を取り出した後、さらに燃料デブリの取り出しが待っています。汚染水対策、急務である浄化処理した水の貯留場所の確保、これまでの貯留タンクの入替え、入れ替え後の汚染されたタンクの解体作業、さらに作業員の確保など、多くの課題を抱えて廃炉作業が続けられています。



<http://www.tepco.co.jp/decommission/progress/removal/>
(東京電力 3号機使用済燃料プールからの燃料取り出し)

6. 北海道 岩内厚生園を訪問しました

2018年9月6日午前3時25分に北海道胆振東部地震が起き、それにともない道内全域が停電となりました。発電を中止中の北海道電力泊原発1～3号機の原子炉には燃料はなく核燃料をプールで冷却中でしたが、燃料の冷却に必要な外部電源を喪失、非常用発電機6台で燃料プールの冷却を続けていました。これで7日間は冷却が可能ではあったようですが、約9時間半後の午後1時までには復旧しました。原発が立地する泊村は震度2、泊原発から10キロ地点の児童養護施設岩内厚生園は震度3でした。

11月30日に、本会澤田共同代表と会員の市川誠子氏が岩内厚生園を訪問して、避難計画やマニュアル

ル、地震と停電に伴う対応、子どもたちの反応、公的機関との連携などの話を伺いました。福島での教訓が活かされているかを確認し、今後の活動にいかしていくためです。

実際には、在園児童の安否確認をして朝を迎えたこと、直後から起きた停電に対し、原子力発電所には非常用電源があるから大丈夫と考えて、停電中の照明や食事の確保を優先していたとのことでした。

いわき育英舎に在職中、避難経験のある市川氏は「福島で起きた原発事故による避難の困難さを全国原発近くに立地する児童養護施設と共有する必要を改めて感じた」と語っていました。

7. 会費納入、寄付・未使用切手などのご寄付を頂いた皆様(敬称略 順不同)

2018年11月21日～2019年6月30日

日本ルーテル教団、山のハム工房グローバル、日本キリスト教団夙川東教会、日本キリスト教団大泉教会、日本キリスト教団下落合教会、下落合教会学校、日本キリスト教団南山教会、日本キリスト教団早稲田教会、日本聖公会Girls Friendly Society、日本聖公会大坂教区婦人会、日本ルーテル教団戸塚教会、戸塚ルーテル教会学校、戸塚ルーテル教会付属幼稚園、池上ルーテル教会、Casa d'angelaクリスマスコンサート 天使の募金、唐池学園有志、日本基督教団名古屋東教会、国際基督教大学高等学校キリスト教活動委員会、西南女学院大学、西南女学院中学校・高等学校、公益財団法人名古屋YWCA、2010オリーブの木、東京はなみずき女声合唱団、はらからの歌声、へるす出版「小児看護」編集部

青島 敏行、秋山 道子、阿久澤 麻理子、荒木 暁子、安間 ちょう子、池口 佳子、池田 香里、池田 むつみ、石川 信克、石川 福江、石原 潔、石原 昌子、伊藤 信彦、糸柳 尚子、稲福 祐子、犬塚 茂生、猪熊 京子、今泉 郷子、岩崎 美里、宇井 志緒利、臼井 美帆子、歌津 文男、宇野田 陽子、海老澤 のり子、蝦名 美智子、遠藤 和子、大島 庸子、大橋 めぐみ、大畑 美和子、岡田 友子、小澤 英輔、小田 美乃里、加島 春来、数間 恵子、加園 貴代子、片岡 安子、加藤 典子、金澤 トシ子、金子 みどり、神津 陽子、川北 かおり、川口 千鶴、喜多野 由希、北村 今日子、木村 智一、工藤 美子、國澤 尚子、国武 和子、熊坂 武雄、神戸 信行、小熊 三重子、小松 美穂子、近藤 真由美、齋藤 千宏、齋藤 久夫、田中 哲夫、田中 好子、田中 とよ美、土屋 秀、津山 春香、津山 夏維、齋藤 泰子、佐川 真理子、佐野 むね、澤井 映美、澤田 和美、澤田 稔、澤田 保子、志賀 由美、柴田 恵子、嶋津 徹、島村 陽子、塩飽 仁、菅波 靖夫、杉村 恵子、鈴木 征吾、鈴木 敏夫、鈴木 千衣、鈴見 郁子、高木 健一郎、高木 史江、太田 信吉、太田 智恵子、大塚 千織、大塚 哲朗、高坂 美枝、高橋 千治、高橋 玲子、高橋 みつ子、田上 ふみ子、高柳 允子、高山 喜美子、田口 恵美子、武井 めぐみ、竹内 由美子、竹中 眞美子、立川 洪介、立川 満里、田知本 みどり、永井 美智子、中岩 眞佐子、中島 隆宏、中島 祐子、永田 栄子、中田 勇二、長畑 左樹子、名取 智子、西垣 二一、西口 徹、橋場 みき子、畑野 研太郎、馬場 隆、原 久子、平尾 泉、原瀬 岳、原瀬 耕、原瀬 里、原瀬 昌久、原瀬 光子、福山 竜一、細谷 たき子、本田 裕子、前村 恵、舛岡 泉、増田 高子、町田 洋子、松平 信子、松原 悦子、松村 芳陽、馬淵 由季子、丸 光恵、三谷 美香、三原 翠、宮田 美恵、宮原 多枝子、宮本 信江、武藤 房枝、村上 満子、村川 佳代、村田 貴志子、村田 恵子、村本 淳子、森田 喜之、清水 清美、下澤 いづみ、白鳥 まゆみ、安江 眞佐子、柳澤 千恵子、山縣 敦子、山崎 慶子、山田 和子、山田 忠昭、山田 洋、山本 千春、吉田 妙子、和田 康子、和田 信明、渡辺 美保、伊藤 良子、匿名希望2名、

8. 本会の活動に対して下記の団体から助成を頂きました

- 特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム 共に生きるファンド
甲状腺検査を通じた健康教育ー成育の困難を考慮した放射線教育ー(2018年7月～2019年6月)
- 特定非営利活動法人 日本イラク医療支援ネットワーク (JIM-NET) 福島基金
内部被曝検査(尿中セシウム検査)継続実施事業(2018年10月～2019年4月)
- 日本ルーテル教団
健康手帳・体温計ほか贈呈事業

ホームページもご覧ください <http://www.fukujidou.org>

福島県の児童養護施設の子どもの健康を考える会



共同代表 澤田 和美 (福島事務所 事務局長)

塩飽 仁 (東北大学大学院 小児看護学 教授)

副代表 丸 光恵 (甲南女子大学大学院 看護リハビリテーション学部 教授)

事務所住所・連絡先 〒960-8055 福島市野田町6-4-74-5 メゾンオープンC203

e-mail: fukujidou@yahoo.co.jp 電話・FAX: 024 - 573 - 2939

♡略称 ICA福子 (いかふくこ) Foster Care for Infants, Children and Adolescents in FUKUSHIMA

ご支援先

♡ゆうちょ銀行

店名: 二二九店 (店番号229)

種類: 当座預金

番号: 02220 - 2 - 118684

名称: 福島児童養護施設の子どもの健康を考える会

♡大東銀行

店名: 福島西支店(店番号047)

種類: 普通預金

番号: 1303901

名称: 福児童 代表 澤田和美

♡三井住友銀行

店名: 白山支店

種類: 普通

番号: 6854164

名称: 福児童 代表 澤田和美

本会は助成金や皆様からのご寄附により、活動を続けています。
これまでのご支援に感謝申し上げますと共に、引き続き、ご支援をお願い申し上げます。
書き損じはがき、未使用切手による寄附も大歓迎です。